

質問件名 ひとり親家庭を応援し親も子どもも幸せな小平を

【質問要旨】

小平市子ども・子育て支援事業計画には基本的な視点のひとつに、様々な子育て家庭を支えることをあげています。家族の形はさまざまであり、両親がともに就労している家庭や保護者のうちどちらかが子育てに専念している家庭、障がいのある子どもがいる家庭、養育家庭のほか、ひとり親家庭で育つ子どもたちもいます。

2016年に改正された児童福祉法には、全ての子どもは、子どもの権利条約の精神にのっとり、適切に養育され、生活を保障され愛されることなどやその他の福祉を等しく保障される権利を有することが書き加えられました。

しかし、子どもの貧困率は13.9%と数値は改善したものの先進国中では依然として高く、特にシングルマザーを中心にひとり親世帯では50.8%と極めて高い数値となっています。今年の10月からは生活保護基準の引き下げや母子加算の減額が予定されており、貧困対策に逆行するという声も出ています。また、ひとり親家庭では経済的な問題だけでなく、仕事と家事両方の忙しさという課題もあります。

小平市子ども・若者計画素案では、ひとり親家庭への支援が位置付けられており、状況やニーズにあった施策の充実が求められています。子どもも保護者も希望を感じ幸せに生きていける小平となることを願い、以下の質問をします。

- ① 「ひとり親応援ガイドブック」やホームページなど支援制度の情報を当事者に確実に届けるためにどのような工夫をしていますか。
- ② さまざまな相談窓口を通して、具体的な支援施策につながるための体制づくりをどのようにしていますか。
- ③ 住宅支援の充実にどのようなものがありますか。また、今後の可能性として空き家や空き室の活用を検討できないでしょうか。
- ④ 予定されている生活保護基準や母子加算減額による影響について、市としてどのような対策を考えていますか。
- ⑤ 就労支援や自立支援制度の効果と課題は。
- ⑥ 生活困窮者支援事業や受験生チャレンジ支援貸付などこだいら生活相談支援センターの事業がひとり親世帯に対してもたらしている効果と課題は。
- ⑦ 経済支援以外のサービス、例えばひとり親家庭ホームヘルプサービスなどの効果と課題は。
- ⑧ 子どもや保護者自身の心のケアに関する相談へはどのように対応していますか。
- ⑨ 支援が必要なひとり親家庭に学校ではどのような対応をしていますか。
- ⑩ 生活保護基準の引き下げによる就学援助への影響へどのような対策を考えていますか。

上記のとおり、小平市議会会議規則第57条第2項により通告します。

2018年2月13日 小平市議会議長 殿

小平市議会議員 氏名 日向 美砂子
 受付番号【 】

26	25	24	23

— (/) —